

第34回ゆうゆうクラブハイキング

<館林市つつじが岡公園>

第34回ゆうゆうクラブハイキングは、ゴールデンウィーク初日の4月26日(土)、日本一のつつじ庭園といわれる、広大な「館林つつじが岡公園」を訪れました。朝10時、館林駅前に33名集合。雲ひとつない快晴に恵まれた春の爽快な気候の中、各自マイペースで「つつじが岡公園」に向けて出発しました。ひたすら目的地を目指し早足で歩く人、久しぶりに会い近況話を交え談笑しながらのんびり歩く人、年齢や体力の違いもあって、歩き始めて10分ほど経つと先頭は見えなくなり、集団はバラバラに離れてしまいます。最近のハイキングは、いつもこのパターンです。

駅前から20分ほどで、町の中心部を流れる鶴生田川(つるうたがわ)の川岸に着く。両岸に連なる桜並木のふもとには約5000匹のこいのぼりが掲揚され、平成7年には、その数で世界記録に認定されたそうで、雄大に泳ぐ姿は圧巻でした。

こいのぼりを見ながら15分ほど歩くと、目的地のつつじが岡公園に到着。全員揃って入園し、その後は自由行動に。早速ビールを買い求め弁当をつまみに小宴会を催すグループもありましたが、それぞれ小グループに分かれてつつじ鑑賞となりました。今年は気温の高い日が続いたためか、つつじの花の最盛期にはちょっと遅かった感有り。満開を過ぎて花がしおれている株も多く見られましたが、それでも広い園内で色とりどりの花を愛でる事が出来ました。一番の見所の、推定樹齢800年を超えるヤマツツジ「勾当内侍遺愛(こうとうないしいあい)と言うそうです」を始めとするつつじの古木群や、宇宙飛行士の向井千秋氏(館林市出身)が宇宙へ持って行った種子を発芽させた「宇宙つつじ」が植生されていました。

最後に入り口付近で集合写真を撮り解散、それぞれ帰路へ。連休初日で大変な混雑が予想されましたが、花もピークを過ぎ、園内はほどよい人出で自由気ままに歩き回ることができました。

駅前から公園まで良く整備された町並みのなか、生い茂った街路樹が春の直射日光を遮り、穏やかな気分で過ごせた一日となりました。

(ゆうゆうクラブハイキング幹事 栃木弘 記)





ゆうゆうクラブへ戻る